

審査講評

日事連建築賞選考委員会委員長 坂本一成

用途転換、豊かな内部空間

今年度の国土交通大臣賞は山梨市庁舎 東館です。この建築は、市町村合併を機に電話機製造の工場からコンバージョンした、甲府盆地に建つ市庁舎です。この建物では、工場の内部空間を利用して1階に窓口業務を中心とした事務執務室・保険センターを、2階に議場をはじめとした議会関係諸室を配することで用途変更による機能転化を実現しており、また適切な吹き抜けや明快な動線によって広がりのある豊かな内部空間を形成しています。耐震基準確保のための、架構の外側のPCa-PC造のアウトフレームは、この建物にフレキシビリティの高い内部空間を与えているばかりでなく、市庁舎としての特徴ある外形のファサードの新たな意匠を形成しています。このように、この建築はコンバージョンによるサスティナビリティを前提としたエコロジーデザインとしての評価に留まらず、同時に新設の庁舎建築としての完成度の高い空間を形成したのも特に評価され、国土交通大臣賞に選定されました。

単純な架構、園児に優しく

日事連会長賞はこもれびの舎保育園です。この建築は、五島列島の福江の自然豊かな海岸を臨んで建つ小規模な保育園です。この保育園は5.4m(三間)の正方形グリッドによる単位を平面的に縦横3×7列に並べ、短辺方向に切妻屋根を鋸歯状に架けた



現地調査風景

単純な架構の建物です。内部間仕切りはほとんどない一室空間となっており、切妻天井の集合による優しく楽しい内部空間が保育園児の豊かなアクティビティを包含する場となっています。決して上等の仕上げとはいえない、また精緻なディテールを持たない、この単純で素朴な構成の建物は、技術至上主義化して、ソフィスティケートされた現代建築に対して批評性を与え、もうひとつの別の建築の可能性を示すものとして印象深い建物となっています。自然エネルギーの利用も含め、建物と人との豊かな関わりを感じさせる建築として特に評価され、日事連会長賞に選定されました。

新たな空間表現の可能性

一般建築部門の優秀賞は以下の3点です。

山口市秋穂地域交流センター・山口市立秋穂図書館は、山口市内の田園地帯に建つ、地域コミュニティのための図書館・体育館・生涯学習館からなる複合施設です。周辺環境との調和を意図した平屋の低い建物はボリュームを分節し、環境に馴染んだ信頼感ある外形を構成しています。センターと図書館は交流ロビーで分節され、親しみやすい仕様で仕上げられた各室の領域は、深い軒下に続く低い天井で連続した広がりをもって展開しており、豊かな内部空間が形成されています。様々な地球環境維持の取組みを適切に対応された設計で優れた建築となっています。

木材会館は、東京都の木材問屋組合の会館本部を中心とするオフィスビルです。一部の屋根架構の構造材や外装材、さらに内部仕上げ材に積極的に木材使用の可能性を、流通・法的制限・防火といった様々な側面から探求した建築です。現代木造技術を駆使することで、ヒノキの角材による外装のシェルフ状のファサードの形成、ホール部の襜状に組み込まれた木材集合による架構の形成などに見られるような木材による建築空間の可能性をもたらしたばかりでなく、新たな空間表現をもった現代建築のあり方を

示した優れた建築となっています。

近畿大学食堂棟 BLOSSOM CAFÉ は、東大阪市の近畿大学キャンパスに建つ学生のための大学食堂です。この建物では食事を供給するテナント（調理販売）部を1階に配し、ダイニングホール（食事室）を多層にわたって有機的に展開することによって、食事の場としてのみでなく、学生が集まり活発な交流がなされる広場的スペースが形成されています。大階段・ピロティー・吹き抜けなどによって、階層ごとにずれることで生まれる内部の立体的広場を中心としたこの建物は、学生の活動に対応した質の高い空間をもった優れた建築となっています。

周辺環境と密接な関わり

小規模建築部門の優秀賞は以下の3点です。

ヨコハマアパートメントは、横浜の高密集住宅地に建つ極めて小規模な集合住宅です。この建物では、4戸の住戸が5m高のピロティーの上部に配され、それぞれの住戸は独立した個々の階段によって、下のピロティー部である「広場」から至るといった単純な図式で構成されています。この広場はビニールカーテンだけで建物外と仕切られた半外部的空間となっており、居住者共有のサロン・作業場・ロビーといったコモンスペースとなっています。さらに、地域の公民館的なコミュニティスペースの役割も果たすなど、周辺環境と密接に関わった環境性の高い優れた建築となっています。

清荒神清澄寺 史料館は、宝塚市の古刹で有名な社寺のコンパクトな展示ギャラリーです。この建築は、緑豊かな環境の境内で寄棟の大屋根に覆われ、小さな展示室が壁で囲んだ形で設けられ、さらにその外側をガラスで囲んで回廊とした、極めて単純な構成となっています。特に、ガラスによって支えられたかに思われる軒の出の大きい瓦の重厚な大屋根の外形は、境内の環境に効果的な役割を果たしており、強いモニュメンタリティーを形成しています。また各部の納まりを含めた仕上げまで密度の高い優れたデザインとなっており、極めて良質な建築を実現させています。

慈眼山 成願寺は、名古屋市北区に建つ古刹の建



現地調査風景

て替えられた伽藍建築です。中心の建物である本堂は、緩やかな曲面の瓦屋根と透明なガラスによるカーテンウォールの外壁の構成で、既存の社寺建築には見られない新鮮で印象的な建築といえます。さらに、この構成と25mm厚のフラットバーの組み合わせによる柱・梁などの主体構造とが相まって、強い伝統を感じる空間の中で密度の高い現代性が表現されています。このように、この建築は本堂、客殿等、寺院全体において、伝統性と現代性を重ねることによって生まれる新たな表現を求めた意欲的な力作であります。

* * *

以上の他に、一般建築部門及び小規模建築部門それぞれにおいて、優秀賞に次ぐ奨励賞が選定されました。一般建築部門では石岡市立 やさと中央保育所、小江戸蔵里（川越市産業観光館）、社会福祉法人小羊学園 三方原スクエア、観音寺市斎場 燧望苑、築上町火葬場の5作品、小規模建築部門では佐竹台の家 TELEVISION HOUSE、House in TAKAHAMA、A-ring—アルミ構造体による環境共生住宅一、桜色の家、雲井町の家 の5作品です。いずれも質の高い設計で、建築計画や構成技術に新しい提案を含んだ優れた作品です。

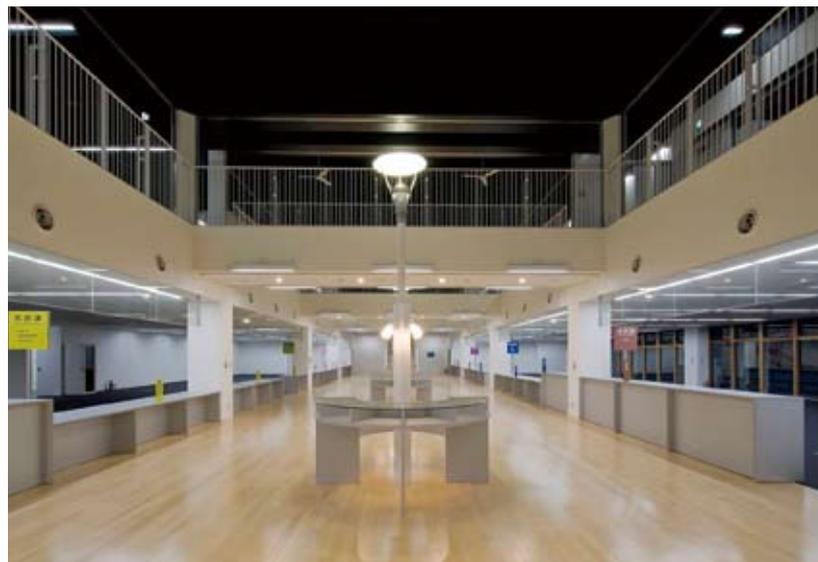
以上、審査講評とします。本年度は数年前の応募数に留まりましたが、来年度はより多くの会員の参加を期待します。



国土交通大臣賞

山梨市庁舎 東館 | 梓設計（東京）

操業終了時点のまま保存されていた、昭和45年築の工場棟の一部と平成元年築の技術管理棟を庁舎へとコンバージョンしたプロジェクト。PCa-PC造アウトフレームによる耐震改修の結果、耐震基準に満たない東館の既存の壁はすべて取り払い、明るく開放感ある室内環境を実現した。スラブを設けアウトフレームにせん断力を効果的に伝達させつつ、夏の日差しを抑制するなど、環境と共生する外観を創出している。東館1階には、市民利用が多い窓口部門、2階には市民スペースと議会部門を配置した。2階床は可能な限り取り払い、だれもが気軽に訪れることができる、開放的な庁舎を実現している。



建設地：山梨県山梨市／用途：市庁舎／構造：RC造、S造／階数：地上5階、屋上1階／面積：敷地面積 39,900.94㎡／建築面積 8,379.32㎡／延面積 5,515.62㎡

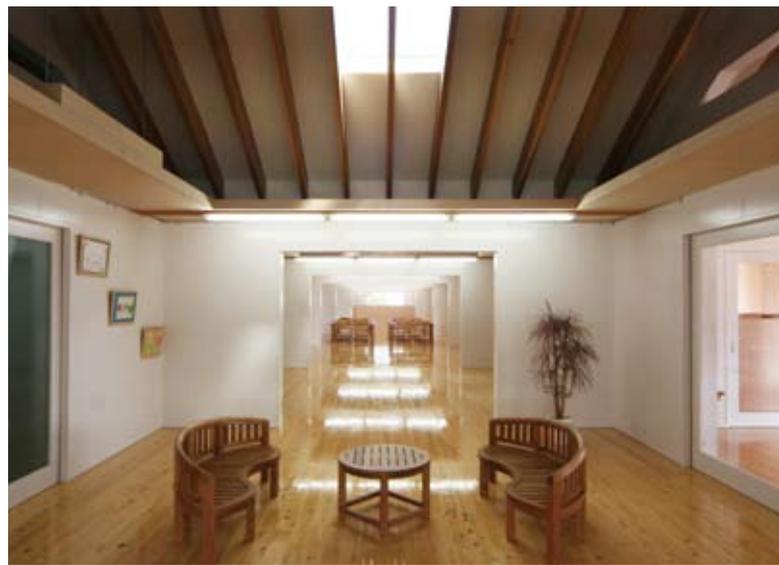


日 事 連 会 長 賞

こもれびの^{いえ}舎保育園

| Inter Media 一級建築士事務所 (長崎)

敷地は、山や海、森など多様で豊かな自然に恵まれた場所にある。三間 (5.4m) の規則的なグリッドを 1 寸法単位とし、3 × 7 単位グリッド上の壁面に大きさが段階的に異なる開口を穿つことで平面を構成している。壁面の量が段階的に変化し、様々な空間が流動的に繋がり、そのまま周囲の縁側を介して園庭、周辺の雑木林や海岸の風景に連続する。空間領域におけるフレキシビリティに対して、家具や建具のみに領域形成を委ねるのではなく、実体としての建築が強く寄り添っていけないだろうかと考えた。



建設地：長崎県五島市／用途：保育所／構造：木造／階数：地上 1 階／面積：敷地面積 7,178.37㎡／建築面積 638.20㎡／延面積 612.36㎡

山口市秋穂地域交流センター・山口市立秋穂図書館 |

日建設計 一級建築士事務所 (大阪)



瀬戸内の緑豊かな水田地帯に位置する複合施設。機能毎の様々なボリュームを大屋根で繋げることで、おおらかな風土に溶け込みながらも賑わいを感じさせる佇まいとした。中心となる交流

ロビーは各部屋を雁行配置し、活動や風景を相互貫入させることで、人々の交流を誘発する空間構成としている。トップライトや深い庇からの光が素材感豊かな室内を柔らかく照らしている。

建設地：山口県山口市／用途：生涯学習施設・図書館／構造：S造、RC造／階数：地上1階／面積：敷地面積 15,000.00㎡／建築面積 3,869.00㎡／延面積 3,550.99㎡

木材会館 |

日建設計 一級建築士事務所 (東京)

木材間屋組合の会館本部とオフィスビルからなるこのプロジェクトでは、法的与件や加工技術の可能性を検証し、内外装・構造体にわたって木材利用の新たな方法を開発している。最も流通量が多い一般製材(105角のヒノキ材)を主材料として用いてコストを抑えつつ、1000㎡に及ぶ大量の木材を使用。主構造を杉本実型枠の打ち放しコンクリートとし、木の色とスケール感に馴染んだ構造体を実現している。

建設地：東京都江東区／用途：オフィス、集合場／構造：RC造、一部S造、一部木造／階数：地上7階、地下1階／面積：敷地面積 1,652.90㎡／建築面積 1,011.26㎡／延面積 7,582.09㎡



撮影：野田東徳 [雁光舎]

近畿大学食堂棟 BLOSSOM CAFÉ | 安井建築設計事務所（大阪）

様々な学生が集まるこの施設では、内外空間を広場と見立て、階層ごとにずらしていく「立体広場」と、大階段やピロティ・吹き抜けて広場を連続させ、交流の輪を誘発させる「Communication Step」によって構成を行い、建物内外に立体的に現れる交流拠点を創出している。メインストリート側に設けたピロティは、PC梁による5.7mのキャンティレバーによる無柱空間としている。

建設地：大阪府東大阪市／用途：大学（食堂）
構造：RC造／階数：地上3階／面積：敷地面積 46,175.05㎡／建築面積 986.00㎡／延面積 2,377.16㎡



撮影：SS大阪 津田

優秀賞 | 小規模建築部門

ヨコハマアパートメント | オンデザインパートナーズ（神奈川）

若いアーティストに、展示と作業、居住の場所を提供する4戸の集合住宅として計画された。敷地は、道が狭くて高低差がある、木造住宅の密集地にあり、コンパクトだけれど実感できる距離感が非常に生きている場所だ。1階に天井高5mの半外部の共有広場、そこから各々の専用階段を回って、2階の居住小屋に入るという構成を提案した。共有することで豊かに住む、ここにしかない小さな世界を実現している。

建設地：神奈川県横浜市／用途：共有部付住宅（間貸し）／構造：主体構造木造、杭・基礎ベタ基礎／階数：地上2階／面積：敷地面積 140.61㎡／建築面積 83.44㎡／延面積 152.05㎡



（※現在はアーティストでない若者も居住している。）

撮影：鳥村銅一

清荒神清澄寺 史料館 | 竹中工務店 大阪一級建築士事務所（大阪）

千百有余年の歴史ある名刹の発祥の地に建つ史料館。訪れる人は、アプローチに設けた水盤の滴の音に誘われ、軒下を巡ると新たな視界が開かれるよう、庭と建築との関係を再構成した。外観は、軒を中央の入れ子状に配した展示室の壁から大きく跳ね出し、伝統的な本瓦葺きの屋根が浮かび上がる形とし、屋根から下をガラススクリーンとすることで軒下空間と庭との関係性を強めた。

建設地：兵庫県宝塚市／用途：寺院／構造：RC造／階数：地上1階、地下1階／面積：敷地面積 15,864.46㎡／建築面積 163.24㎡／延面積／221.76㎡



慈眼山 成願寺 | 一級建築士事務所石橋徳川建築設計所（東京）

本堂の外観は緩やかな曲面の瓦屋根と透明性の高いガラスの外壁である。本瓦葺きの屋根は鉄骨を和風に架け渡した屋根架構により構築し、外壁はカーテンウォールと障子の回廊による二重の皮膜で構成した。また、基礎免震構造を採用し、33tの本瓦を軽快に浮かせるなど、伝統性と現代性、和風と洋風といった寺院建築が内包している課題を新たな表現に変換し、たおやかな印象の外観とした。

建設地：愛知県名古屋市／用途：寺院／構造：S造、RC造／階数：地上1階、地下1階／面積：敷地面積 1,721.34㎡／建築面積 616.82㎡／延面積 847.29㎡



撮影：村井 修

奨励賞 | 一般建築部門

石岡市立 やさと中央保育所 | 横須賀満夫建築設計事務所（茨城）

筑波山の裾野に位置する柿岡地区。城址の一角に建つ保育所は、歴史性と自然に富んだ敷地にある。小学校と連携したアプローチを有し、隣接する高齢者センターと中庭を介した配置とすることで、世代を超えた交流を図っている。保育室の前には、ゆるやかにカーブしたテラスを設け、庇によって内外空間の一体化を生み出す。県産材使用や自然光の導入など、環境や地域産業にも配慮している。

建設地：茨城県石岡市／用途：保育所／構造：木造／階数：地上1階／面積：敷地面積 5,765.42㎡／建築面積 1,627.51㎡／延面積 1,345.37㎡



小江戸蔵里（川越市産業観光館） | フケタ設計 さいたま事務所（埼玉）



酒造跡地にある施設群を改修し、店舗など市の観光施設として再生。国の登録有形文化財である酒蔵3棟と倉庫の構造躯体を現行レベルまで耐震補強し、設備や内外装も一新した。既存建物の修復や

復元を基本としながらも、庇やキャノピーをガラスと鉄の素材で新たに設置するなど、新旧の融合を図っている。周辺地域景観形成基準のもと、景観やまちづくりに配慮している。

建設地：埼玉県川越市／用途：店舗／構造：改修（復元）／階数：地上1階／面積：敷地面積 3,064.09㎡／建築面積 1,286.75㎡／延面積 1,204.00㎡

社会福祉法人小羊学園 三方原スクエア | 久米設計（東京）

重度、重複の知的障害児・者のための入所施設。集団の中の多様性を重視し、分散された住宅棟から街路に向けた玄関を出て中央の支援棟へと向かう配置構成や地域動線の取り込みによって、閉鎖から地域密着へという時代変化に対応している。入所者が家庭に近い環境で暮らせるよう、住宅棟は木造の軸組工法で、小規模な暮らしの場として、支援棟は柱梁に構造用集成材を用いたおおらかな空間を形成している。

建設地：静岡県浜松市／用途：知的障害児施設／構造：木造／階数：地上2階／面積：敷地面積 6,760.97㎡／建築面積 3,094.79㎡／延面積 3,129.51㎡



撮影：鈴木 隆

観音寺市斎場 すいぼうえん 燧望苑 | 新企画設計（愛媛）



丘陵地の中腹に造成された敷地は、市内と瀬戸内海の燧灘を一望できる位置にある。市内からも遠望できることから、建築を風景の一部とすることを企図した。地元産の瓦や桧板、地元左官がデザイン

を競う化粧腰巻漆喰など、地元職人の手仕事かつ長寿命な仕上げを施している。深い軒の出と水切底による外壁の保護や雨水の中水利用、ハイサイドライトなど省エネ機能も考慮している。

建設地：香川県観音寺市
／用途：火葬場／構造：RC造／階数：地上2階／面積：敷地面積 21,812.53㎡／建築面積 3,543.71㎡／延面積 3,853.20㎡

築上町火葬場 | アール・アイ・エー九州支社（福岡）

町合併に伴う旧火葬場の建設。旧火葬場など焼却施設が集まる地区の陰鬱なイメージを払拭すべく、透明感のある外観をつくり、外構を含め、公園のような親しみやすさをつくっている。また記憶にそっと寄り添う火葬場として背景に徹するため、太陽の動きを生かし、各室の性格に合わせて、配置や光の扱いを決めている。町に暮らす人々の共通する心象風景を描ければという想いで設計を行った。

建設地：福岡県築上郡／用途：火葬場／構造：RC造／階数：地上2階／面積：敷地面積 6,451.79㎡／建築面積 1,203.19㎡／延面積 1,482.37㎡



奨励賞 | 小規模部門

佐竹台の家 TELEVISION HOUSE | 森村政悦建築設計事務所（京都）

この建物は免震装置の活用によって、壊れにくく、長く使える高い耐久性を確保した造形デザインを表現し、地震や災害に対する備えだけでなく、住まい手や地域住民にとっても安心と調和のとれた景観を提案している。免震層を従来のように基礎内部に収めるのではなく積極的に開放し、地下駐車場や家族の主導線としての機能も持ち合わせた。住まいを地面から切り離し、建物の底という新たな空間の有効活用をしている。

建設地：大阪府吹田市／用途：専用住宅／構造：鉄骨ラーメン造を主体とする免震構造／階数：地上1階、地下1階／面積：敷地面積 364.36㎡／建築面積 144.95㎡／延面積 257.64㎡



House in TAKAHAMA | fuse atelier (千葉)

閑静な低層住宅地に位置する小住宅。2階建ての住宅群が立ち並ぶ典型的なニュータウンの風景に対し、あえて平屋を南側に寄せて北側に広いアプローチ空間をとっている。住宅中央に設けられた外部空間は、自然や季節の変化を可視化するショーケースであり、そこに配置した自立壁は、視線を遮ると同時に内部空間を多様に分節し、光を室内に取り込む反射板にもなっている。

建設地：千葉県千葉市／用途：専用住宅／
構造：RC造／階数：地上1階／面積：敷地面積
184.93㎡／建築面積 73.04㎡／延面積
73.04㎡



撮影：上田 宏

A-ring – アルミ構造体による環境共生住宅 – | アトリエ・天工人 (東京)

多雪多雨による高湿度の厳しい環境の中、構造体にアルミニウムを使用した特殊な住宅である。その背景は、建設地の北陸がアルミニウムのメッカであり、CO₂削減のためにアルミニウムの熱伝導率の良さが生かせるという理由があった。3年をかけて20社以上の協力企業とともに開発を行い、「アルミを構造体とした環境共生型住宅」と「ランニングコストのゼロ化」を目指した。

建設地：石川県金沢市／用途：専用住宅／構
造：アルミニウム合金造、一部RC造／階数：
地上2階、地下1階／面積：敷地面積 178.22
㎡／建築面積 104.34㎡／延面積 136.62㎡



撮影：傍島利浩

桜色の家 | 一級建築士事務所トランススタイルアーキテクト（静岡）

若い夫婦と幼い子ども達が暮らす住宅である。敷地は桜並木が続く土手に隣接し、その高低差は4mあり覆いかぶさるように桜が咲く。主な居住空間を2階に設け、桜並木を楽しみながらもプライバシーを守れるよう開口部の高さを調整している。天井は桜を見上げる様に勾配を持たせている。子どもと一緒に手が届きそうな桜の蕾を数えながら春の訪れを楽しむなど、風景と家族が寄り添う住宅となっている。

建設地：静岡県藤枝市／用途：専用住宅／構造：木造／階数：地上2階／面積：敷地面積 215.08㎡／建築面積 76.59㎡／延面積 134.55㎡



撮影：スタジオメロス 濱 善治

雲井町の家 | 長谷川設計事務所（兵庫）

樹齢20年以上の木々が残る敷地に建つ住宅。眺望を生かし、2階にパブリックスペースと水廻り、1階に個室を集めたことで壁量が確保され、居間、食堂、台所などを2階の大空間（9.1m×9.1m）にとることを可能にした。大空間は、障子の引き出しで4つの室に分けることができる。まちに落ち着きを与えるためにも外壁は全面杉板の鎧貼り、道路面の塀は目透しの縦貼りとした。

建設地：兵庫県西宮市／用途：専用住宅／構造：木造（在来軸組工法）、一部RC造／階数：地上2階、地下1階／面積：敷地面積 485.96㎡／建築面積 191.14㎡／延面積 339.71㎡



撮影：市川かおり